

新年のご案内

T567-0012
 茨木市東太田二丁目九三二
 浄土真宗 西福寺
 本願寺派
 HONCHUJI IN THE EAST AKKAKI-KU, SAIKI-CITY, KYOTO

御正忌報恩講厳修

ごしよつきほうおんこう

み光に照らされて、新年を迎えることができます。
 皆様には如何お過ごしでしょうか。

平成二十一年最初のご案内を申し上げます。

がん たん え

元旦会

日時 一月一日 祝 昼一時

講師 本願寺中央講師



足利孝之師

■ 一年の計は元旦にあり。阿弥陀様の御前で、新年を迎える私の心を見つめたいものです。お屠蘇進上。今年も福引きります。

■ 足利先生、兵庫県尼崎市、安養寺住職。教誨師として多くの死刑囚を看取られたご経験から阿弥陀様のお慈悲の有難さ、かたじけなさを分かりやすく熱くお話くださいます。

■ 昨年十二月の 報恩講 は、多くの方々のご協力を頂いて無事に終えることが出来ました。厚く御礼申し上げます。

● 年末年始のお参りについて

* * *

誠に勝手ながら左記の通り、年末年始は、お逮夜参りをお休みいたします。

この期間内に月命日を迎えられる方は、12月30日までの都合の良い日をご連絡いただけます。お伺いいたします。もしくは、当山の元旦会にご参拝下さい。何卒、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

年内：12月30日(火)まで

新年：1月5日(月)から

* 葬儀など緊急の際は、昼夜を問わず直ちにご連絡下さい。TEL 072-622-3725

来る1月9日から16日までの期間、京都・西本願寺において御正忌報恩講がご修行になります。

報恩講は宗祖親鸞聖人のご苦勞をしのび、そのご苦勞を通じて、阿弥陀様のお救いをいただくことをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。私たちにとって、もっとも大切な法縁といえます。

住職は1月10日 土 午後2時からの逮夜法要に茨木東組代表として出勤いたします。

この機会に本山へ一緒に参拝いたしませんか。費用は特にかかりませんが、御佛飯料を進納いたしますのでご協力下さい。当日、直接お越し下さっても結構ですが、できましたら前々日 8日 までご一報下さい。記念品がいただけます。

※万一の場合は、住職携帯まで

090 1071 4881

キリトリ

年忌表 (平成二十一年)

1	周忌	平成二十年七
3	回忌	平成十九年七
7	回忌	平成十五年七
13	回忌	平成九年七
17	回忌	平成五年七
21	回忌	昭和六十年七
33	回忌	昭和五十二年七
51	回忌	昭和三十五年七
55	回忌	明治四十三年七

平成二十一年は、上記の年に亡くなった方々の年忌に当たります。盛大であるに越したことはありませんが、ささやかでも、真心のこもった法要(法事)を勤めたいものです。法要は、命日に勤めることが理想ですが、都合で、日・月・年が前後にずれる場合があっても構いません。

法要を勤めるにあたっては、まず日程を住職にご相談ください。日取りが決まったら、親戚知人にも通知を出し、前日までに仏壇をきれいに掃除し、お供物やお花、お香などを買い替え、心をこめて準備いたしました。そのほか、ご不明な点は何なりと住職までお尋ねください。

左の点線部分で切り取って『真宗教団連合平成21年法語カレンダー』の台紙に張ってご利用下さい。

石川欣也先生の法話のダイヤル 0743-53-4488

二月のご案内

T567-0012
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
TEL 072-622-3725

厳しい寒さの中にも、春の息吹が感じられるようになってまいりました。

皆様には如何お過ごしでしょうか。

平成二十一年二月のご案内を申し上げます。

第二百九回

人生講座

日時 二月八日 日 昼二時～四時

講師 本願寺派布教使

稲葉芳道 師



■稲葉 いなば 先生、六十九歳。奈良県吉野郡下市町、法泉寺住職。平成三 一九九一年 第一期 短期るんびに苑以来、ご家族・ご門徒を挙げて、るんびに苑 の実現にご協力いただきました。
■お誘いあわせの上、こぞってお参り下さい。

●御同朋の社会をめざして — 同朋 (どうぼう) 研修会のご案内 —

* * *

今年度、茨木東組同朋研修会は、ご講師として富田の因光寺住職、鷲山和敬師をお迎えいたします。多数ご参加ご出席下さり、共に認識を深めたいと存じます。

・と き…2月16日(月)午後2時～4時

・ところ…専念寺(茨木市沢良宜浜1-7-20)

・参加費…無料

・申込み…2月6日(金)締切

*参加ご希望の方は、住職までお知らせ下さい(TEL 072-622-3725)。

るんびに日曜学校

ねはんえ 涅槃会

二月十五日 日 午後二時より

るんびに日曜学校は、小学生のための心の学校です。涅槃会 では、お参り・法話のあと、劇やパネルシアター、お母さん方の本の読み聞かせなど盛りだくさんの内容で行われます。粗糲進呈。どなたでもお参りいただけます。

日曜学校 涅槃会 次第

献花・献灯・献香

おまいり らいはいのうた

法話 住職

歌 つゆ たいりょう ほしとたんぼほ

パネルシアター 火の鳥

読み聞かせ 育成会 力たろう

劇 つるの恩がえし

ほか

西福寺アーカイブス

十七条憲法 (第十四条の六)

阿弥陀如来の成就した功德の全てが、南無阿弥陀仏! と称 とな えようと思つた途端に、私に届くのです。それはちょうど、ドシャブリの雨の中に長時間伏せて置かれたバケツが、ひっくり返されるようなものです。ドシャブリの雨がバケツ一杯に届きます。届いたものを、如来廻向の大信心 つまり 如来さまから賜わつた大信心 と呼んでいきます。親鸞聖人の御和讃 わさん=漢語ではなく和語で説かれた讃歌 に、信心よろこぶその人を、如来と等しと説きたもう。大信心は佛性ぶっしょうなり。佛性すなわち如来なりとあります。阿弥陀如来の成就した功德が届く、大信心が届くというと、私の頭では解つたようでよく解りません。そこで、こんなふうに言い換えてみました。阿弥陀如来そのものが届いてくる と。もっとくだけて言えば阿弥陀如来が宿つて下さる という事です。この阿弥陀如来に動かされて生きていくとき、煩惱具足のまま、怒り・腹立ち・そねみ・妬む心を捨てられない人間のまんまで、この世の中から幸せになつていく道が開かれて来ます。それでは、阿弥陀如来に動かされるとは、どういうことでしょうか。

※1987年5月 西福寺だより 掲載

石川欣也先生の 法話のダイヤル 0743-53-4488

三月のご案内

T567-0012
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
TEL 072-622-3725

日差しが温かく感じられるようになって来ました。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十一年三月のご案内を申し上げます。

第二百十回

人生講座

日時 三月八日 日 昼二時～四時

講師 中央仏教学院講師・本願寺派布教使

貴島信行 師



■貴島 きしま 先生、五十七歳。大阪市東成区、真行寺住職。浄土真宗のみ教えについて深い学問的理解もさることながら、ご家族ぐるみで誠実で真摯なお念仏生活を営んでおられます。
■お誘いあわせの上、こぞってお参り下さい。

初参式

昨年1年間（平成20年1月1日～12月31日）にお生まれになったお子様を対象に初参式を行います。

この世界に生を賜った喜びを感じ、ほとけの子として健やかな成長を願うご家族の皆さまのご参詣をお待ちしています。
と き：4月11日（土）午後1時より

ところ：西福寺本堂

申込み：西福寺（Tel 072-622-3725）

締切り：3月末日

※記念品贈呈。所要時間は約30分です。

彼岸会寄席

桂文福一座衆山



西福寺仏教婦人会3月の例会は、彼岸会ひがね 寄席です。今年も文福一座の皆さんにお越しいたできます。

桂文福さんは、昭和47年に五代目桂文枝師匠に入門されました。以来、出会い、ふれあい、わきあいあい をモットーに100キロの巨体をものともせず、ふるさと寄席の座長として日本各地を飛び回っておられます。

当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。佛説阿弥陀経のお勤め後お楽しみ下さい。

日時 3月18日 水 午後2時～3時半
場所 西福寺本堂
費用 千円 運営協力金として



ご家族の皆さまも一緒にどうぞ。

いしかわきんや 石川欣也先生の

法話のダイヤル 0743-53-4488

西福寺アーカイブス

十七条憲法（第十四条の七）

如来さま に出会うまで、私達は、自分中心に考え、自分中心に行動してしまいます。しかし、如来さま に出会った時から、大きな変化が起こります。

如来さま は、この私達に働きかけ、教え、励まし、慰め、護り、そして、動かそうとされるようです。

如来さま は、迷い苦しむ、一切の衆生をこの世から救うために生れ出た、仏さまであります。しかし、せっかく衆生のために成就した功德も、背を向けて、拒否し続ける者には、届けようがありません。親の心を理解できずに反抗しツツパる子共に、親の心を伝えるだけでも大変なことなのに、私達の五感では捉えようもない 如来さま の心を伝えるのですから、そこには、それだけの 方便 ほうべん＝でだて・方法 があるはずで

私達に宿り、私達を動かして = 凡夫の五感に捉えられるようにして、その心を伝える、これがその方便です。

如来さま に動かされ、如来さま のお手伝い をさせていただくときに、私達は大変なご利益 りやく をいただくようになっていきます。必ず 幸せ者 になるのです。

※1987年8月 西福寺だより 掲載

四月のご案内

T567-0012
TEL 072-622-3725 FAX 072-622-3725
浄土真宗 西福寺
本願寺派

一雨ごとに春めいてきます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十一年四月のご案内を申し上げます。

第二百十一回

人生講座

日時 四月十二日 日 昼二時～四時
講師 木川専宗寺門徒

山崎百合子 師



■ご息女の自死という悲しくつらい日々の中で、浄土真宗のみ教えに出会われ、聞法を重ねられ、多くの諸師方の導きによりお念仏の人生を歩んでこられたお同行です。著書 娘のかかげる灯 探究社 からは、誠実な人柄と慈愛に満ちた眼差しが感じられ、現代の妙好人に出会えたような深い感動を覚えます。

●るんびに日曜学校をお手伝いしていただける方、募集しています。

* * *

『るんびに日曜学校』は、家庭や学校では疎かになりがちな人間として大切な《心》を学ぶ、小学生のための学校です。活動をより充実させるため、先生としてお手伝いしていただける方を募集しています。

開校日は原則として、毎月第3日曜日。朝9時半～正午。主な行事は、花まつり・お抹茶作法・工作・夏のお泊り会(1泊2日)・秋の遠足・涅槃会(歌や劇の発表)などです。交通費実費支給・薄謝進呈。

※18才以上。ひとまずお電話下さい。(電話072・622・3725)

4月11日は、花まつりです。

花御堂を飾り、甘茶をかけてお釈迦さまのお誕生を祝います。あなたも、お友達をさそって、お参りください。みんな、素直な、良い子になりますように！



4月11日(土) 西福寺
午後2時～8時 072-622-3725

■昼2時から法要 15分程度。夜8時まで、お参りできます。

■先着百名の方には粗供養を進呈。

※昼1時から初参式 しよさんしき 厳修
昨年生まれたばかりのかわいいほとけの子供たちがご家族の方々とともにお参りされます。お時間の許す方は、ぜひお立会い下さい。

西福寺アーカイブス

十七条憲法 (第十四条の八)

どのようなご利益 りやく をいただくか、ということとは、また別の機会にゆずります。

私達が 如来さま の心を忘れ、自分さえ良ければ良い と、あまり勝手なことをやっていると、如来さま は これは大変だ！ このまま放っておいたらえらいことになる。早く教えてやらねばなるまい。と、ご注意 をくださるのです。

ところが、うっかり気付かないでいると、このご注意 は、段々とひどくなってきました。

お坊さんにお経をあげてもらい、先祖が成仏してくれさえすれば、それで充分だ と思いつ込んでいると、このご注意 を聞き逃してしまいます。

このごろ悪いことばかり続く。先祖が苦しんでいるのだろうか、それとも水子のセイだらうかと。

名前が悪いと言われれば名前を変え、印鑑が悪いと言われれば印鑑を変え 家の造作を変え、お墓を変え、大安・吉日を選び、星回りや方角を見てもらい、あげくのはてには、お祓いや祈祷にすがり、お札を貼り、霊水 をいただきます。

まるで見当違いのことに迷い、事態を悪化させてしまいます。

※1987年9月 西福寺だより 掲載

いしかわきんや 石川欣也先生の

法話のダイヤル 0743-53-4488

五月のご案内

T567-0012
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
TEL 0743-53-4488

初夏の爽やかな風に、藤の花ふさがゆれています。
皆様には如何お過ごしでしょうか。
平成二十一年五月のご案内を申し上げます。

永代経 法要 厳修

日時 五月十六日 土 昼二時・夜七時

十七日 日 朝十時

講師 本願寺派布教使

石川欣也師 五月十六日 土

本願寺派布教使

佐々木覚爾師 五月十七日 日

■永代経は、亡き人をご縁として、ご先祖から伝えて頂いた尊い仏法を、永代にわたり 伝えていくため 仏法聴聞の殿堂としてのお寺を護持して 菅純和師著 仏事の小箱 より
いこうと願われる方々によって営まれる法要です。
■お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

●ご法事は まずお寺まで お早めに。

* * *

「法事は仏事とも言つて、単なる仏教行事ではなく、お浄土にご往生された仏さまのお仕事・(石川欣也師『善正寺だより』より)」です。

なるべくご希望通りお伺いしたいと存じますが、どうしても土日・祝日の午前中に集中いたします。間際になって「何日の何時にお願いします」と申されてもお受けできない場合がございますので、ご理解下さい。先着順にお引き受けしてまいりますので、何をさておいても、まずはお寺までご一報下さい。また、お寺の行事(永代経・報恩講など)は、あらかじめ執り行う日時が決まっております。重なる時間帯には、何年先でもお受けすることができません。何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(電話072・6222・3725)

永代経に向けて お願い

毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしくお願い致します。

■5月15日 金 午後7時～於西福寺本堂
おかざり 供物をそなえます



西福寺アーカイブス

十七条憲法

ところで、お寺は、そういう 如来さまの心を伝える所です。伝えるというと簡単ですが、言葉だけ・理屈だけで伝わるはずがありません。ともすると住職や寺族 住職の家族の生活態度が、如来さまの心を妨げてしまします。

ですから、なるだけ 如来さまの邪魔をしないようにと心掛けているつもりです。損得勘定で動かないように、特定の人だけのために動かないように、好き嫌いで動かないように、ひんしゆくをかうことのないように・・・と。

また、一人でも多くお寺に参つて、一回でも多く掌て を合わせ、念仏を称 とな え、如来さまの心を聴聞 ちようもん して、ほんとうの幸せ者 になって欲しいと願っております。

ところが時々、この住職の願いを理解出来ずに、その落ち度を突き上げてみたり、住職に協力している人にとにかく言つて、その邪魔をしたりなさる方がいるようです。住職の不徳の致す所 深く反省いたしておりますが、それは 和合を破す あるいは 自障々他二自ら如来に背を向け、他人までも引き降ろそうとする の罪を犯すことにもなりかねません。

※1987年10月 西福寺だより 掲載

石川欣也先生の 法話のダイヤル 0743-53-4488

六月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二
 浄土真宗 西福寺
 TEL 0743-53-4488 FAX 0743-53-4489

雨上がり、吹き渡る風に若葉がきらきらと輝いています。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十一年六月のご案内を申し上げます。

第二百十二回

人生講座

日時 六月十四日 日 昼二時～四時
 講師 本願寺派布教使

義本弘導師

■義本先生、五十二歳。枚方市、浄行寺住職。住職課程専任講師、連研中央講師、仏青連盟指導講師等々、教団として今日取り組むべき活動に真摯に関わっております。またイラク戦争時には 兵戈無用 ひようがむようを掲げて反戦ピースウォークを行いました。



●児童念仏奉仕団募集

期間：7月24日(金)～25日(土) 一泊二日
 費用：宿泊費7000円、JR交通費380円
 対象：小学生～中学生/申込締切：6月14日(日)
 ※ひとまずお電話下さい。(622・3725)
 ■児童念仏奉仕団は「親鸞聖人のみ教えを学び、ご本山(京都・西本願寺)の清掃奉仕を通して次代をになう宗教情操豊かな仏のこどもを育成する」ことを目的として、昭和41年に始まりました。(本願寺ホームページより)

▼スケジュール(晴天時。雨天の場合変更あり)

第1日目

時間	内容	場所
12:00	受付	聞法会館総会所
13:00	オリエンテーション・団体紹介	
14:00	開会式	
14:15	清掃奉仕	御影堂
14:35	本願寺探検説明	境内各所
14:50	本願寺探検	
16:30	法話	
16:40	2日目日程説明	聞法会館総会所
17:00	解散・宿舎へ移動	

第2日目

時間	内容	場所
6:00	お晨朝／帰敬式	両堂／御影堂
7:30	朝食	各宿舎
9:00	集合	聞法会館総会所
9:20	清掃奉仕	境内各所
9:40	休憩	
10:00	ゲーム	御影堂
10:30	記念撮影・ご面接説明	
10:50	記念撮影・ご面接	
11:40	閉会式	聞法会館総会所
12:00	解散・昼食	

いしかわきんや
 石川欣也先生の
 法話のダイヤル 0743-53-4488

親鸞聖人750回大遠忌 茨木東組お待ち受け法要



茨木東組 ひがしそ 十八ヶ寺は、来年平成22年 5月30日 日 茨木市民総合センター クリエイトセンター において親鸞聖人750回大遠忌茨木東組お待ち受け法要 を執り行うことになりました。当日は、厳かに法要が営まれ、法話楽団 迦陵頻伽 かりよつびんが の皆さんが法味溢れる歌とお話しをお聞かせくださいます。本山での大遠忌法要を翌年 平成23年に控え、機運を高め、宗祖のご恩に報いるため、茨木東組の総力を結集して準備を進めてまいります。詳細については 順次ご報告いたします。どうぞご期待ください。

浄土真宗の教章(私の歩む道)

十七条憲法 (第十五条の一)

十五にいわく 私 = 私情・私利私欲 に背そむ = 振り捨て きて公 おおやけ に向かうは、これ臣の道なり。およそ人、私あれば必ず恨うらみ あり。憾 うらみ あれば必ず同 ととのわず。同わざれば則 すなわ ち私をもつて公を妨 さまた ぐ。憾おこれば則ち制 = 制度 に違 たが い法を害 そこな う。故 ゆえに初章 = 第一章 にいわく、上下和諧 わかい = 仲良く調和すること せよと ぞれまたこの情ころ = 気持ち・願い なるか。

この章は 明治から終戦まで 天皇制を支えるために、非常に強調されました。背私向公は 修身の基本であり、天皇のために命を捧げることが美德とされ 何もかも天皇の命令にすり変えられ、不幸な結果を招いてしまいました。

戦後 悪思想の根本だとして 捨てられてしまいました。聖徳太子の本当の願いは ということだったのでしよう。

※1987年11月 西福寺だより 掲載